



▲市長に積極的に意見する学生たち

まちづくりを熱く語る

市長と日本工学院北海道専門学校との意見交換会『春一の熱血・青春トーク』

10月5日(火)、日本工学院北海道専門学校で市長と同校学生との意見交換会『春一の熱血・青春トーク』(市主催)が開かれました。

この意見交換会は、若者の斬新なまちづくりの発想を市政に取り入れようと、市長の発案で初めて行われたもので、公務員学科、情報処理科、建築学科などの学生約50人が参加しました。

学生からは、市立図書館の現状や活用のほか、福祉、観光、市民の意見を取り入れる方法について意見が出されるなど、市長と活発な議論を展開していました。

10/5

住み良い まちづくりを目指して

平成22年度地区懇談会

10/4~

10月4日(月)から市内10会場で『平成22年度地区懇談会』(市主催)が開かれています。

この懇談会は、地域の活性化や地域が抱える課題などについて、各地区連合町内会から提出されたテーマをもとに、市民の皆さんと市長以下市の幹部職員が懇談を行うものです。

今年、防災対策や地域の環境整備などのテーマの解決に向けて、各地区連合町内会と市が意見交換した後、市から除雪作業などについて情報提供が行われ、参加した市民は、住み良いまちづくりに向けて、活発な意見交換を行っていました。



▲地域の課題について、活発な議論が行われました。

命名！チョコ エビーと ミルク ビーナ

10/24

登別市から神奈川県海老名市にポニーを寄贈

10月24日(日)、神奈川県海老名市で、登別市が海老名市へ寄贈した2頭の雌のポニーのお披露目式が行われ、3千通を超える応募の中から『チョコ エビー』と『ミルク ビーナ』という名前に決定したことが発表されました。

『チョコ エビー』と『ミルク ビーナ』は、4月に海老名市から消防自動車5台をいただいたときに、小笠原市長から「お礼をしたい」と申し出たところ、内野優海老名市長がポニーを希望され、これに応えたものです。

今後2頭は海老名市民として住民登録され、海老名市の職員として、海老名市内のイベントで活躍する予定です。



▲海老名市に到着したミルク ビーナ(左)とチョコ エビー(右)